

Joy of Seeing

ROHTO Project

2023年度 プロジェクト年次報告書



目次

ロートグループ(ROHTO MENTHOLATUM)紹介	3
Joy of Seeing プロジェクト紹介	4
2023 年度グローバルでの活動成果概要	5
ロート製薬(日本)	7
メンソレータム社・中国	8
ロート・メンソレータム社・タイ	10
ロート・メンソレータム社・マレーシア	11
ロート・メンソレータム・ベトナム社	13
メンソレータム社・アジアパシフィック・韓国支店	14
ロート・メンソレータム社・シンガポールオフィス	15
メンソレータム社・台湾	16
メンソレータム社・アジアパシフィック(香港)	17
Joy of Seeing プロジェクトの今後の活動、企業理念	18

ロートグループ (ROHTO MENTHOLATUM) 紹介

ロート製薬の歴史は、1899 年(明治 32 年)、創業者の山田安民が資本金 3000 円で「信天堂 山田安民薬房」を創設し、胃腸薬「胃活」を発売したことから始まり、「人がやらないことをやる」という挑戦心を持った先人たちにより築かれてきました。常識破りの商品開発や、誰もが無理だと思うほど難易度の高い課題も、「難しいからこそ、あえてやる」という精神で切り拓いてきました。

当社の歴史において重要な節目のひとつは、1909 年に最初の目薬を開発・発売したことです。1909 年当時、眼病「トラホーム」が流行し、この社会の深刻な問題に対処するため、点眼薬「ロート目薬」を開発し、眼病に苦しむ人々の目の健康に寄与しました。1931 年には、目薬瓶と点眼器を一体化した日本初の画期的な容器「滴下式両口点眼瓶」を開発し、より多くの方にお使いいただけるようになりました。その後も、「お客様が本当に求めるものは何か」を探る視点と「誰もがやらないことをやる」精神を忘れず、新たなアイケア市場を創出しています。

現在、ロート製薬は目薬をはじめとした OTC 医薬品(一般用医薬品)、スキンケア事業をコア領域の事業として展開し、機能性食品・食品、医療用眼科、再生医療、開発製造受託 (CDMO)へと事業を拡大しています。

世界に広がるロートグループとして、110 か国以上のネットワークを活用しグローバルに事業を展開しています。世界の人々の「Well-being」(心身の健康)に貢献するとともに、健康で幸せに過ごすことができる持続可能な社会の実現を目指しています。



Rohto Eye Drop (released 1909)



V-Rohto (released 1964)

Providing **well-being** to people all over the world by delivering health

Working to realize a sustainable society in which people can lead long, happy, and healthy lives

JOY OF SEEING プロジェクト紹介

当社は、110 年以上にわたり、時代時代のお客様の目のお悩みの声に応え続けています。OTC 医薬品のアイケア分野におけるリーディングカンパニーとして、世界中の人々の目の健康課題に向き合い、国境を越えて、「見える喜び」(Joy of Seeing)に貢献する社会的活動を積極的に行っています。

Joy of Seeing プロジェクトは、ロートグループおよび関係会社とともに、世界中で人々の目の健康を守るために立ち上げた目の健康に関する社会貢献推進プロジェクトです。様々な国と地域での活動を通じて、世界中の人々へ「見える喜び」を届けてまいります。



2023 年度 グローバルでの活動成果概要

当社グループ拠点を通じて、主にアジアを中心に「子どもの目の健康」に関する社会的取り組みと情報発信を行いました。2023 年度中、約 487,000 名の子ども達(そのうち 428,000 名がオンライン参加)、256 名以上の社員がイベントに積極的に参加しました。457,200 冊以上の子どもの目の健康に関する冊子を配布し、35,800 名の子ども達に無料眼科検診を行いました。さらに、32,000 名以上の子ども達がオンラインの視力テストに参加し、1,761 本の眼鏡が子ども達に提供されました。9 カ国と地域で計 12 回のイベントが開催され、各地で親子や学校の先生、グループ社員が参加し、目の健康や近視に対する意識を高める取り組みを行いました。

以下、各国・地域別の取り組みの概要をご紹介します。

- ❖ **日本**では、東北大学 COI-NEXT「Vision to Connect」拠点の監修のもと、子どもの目の健康に関する啓発アニメーション動画を開発しました。宮城県富谷市の小学校 8 校、1,400 名以上の子どもたちに対して、「目の健康」に関する授業で活用いただきました。また、396,000 冊の子ども「目の健康」に関する冊子(ガイドブック)を教育機関に配布しました。学校の先生をはじめとする教育関係者が冊子を活用して、子どもの目の健康についての指導を行い、定期的な眼科検査を促しました。これらの取り組みは、子どもたちやその保護者が、子どもの目の健康や近視に対する理解を深めることに大きく貢献しました。
- ❖ **中国**では香港理工大学と協力して研究センターを設立し、目の疲れについての認識を高め、診断システムとソリューションの開発を進めました。また、江西省のチャイルドコンパニオンホームを訪問し、目のケアを含む様々な活動を行い、600 名の子どもがいる家族、100 名以上の子ども達がイベントに参加しました。自社ウェブサイト上の学生アイケアセンターでは、32,000 名の小学生がオンラインで視力テストを受け、どんなアイケアが必要か確認しました。これらの活動を通じ、人々のアイケアに関する認識を高め、リソースを提供し、特に子どもの目の健康へ貢献しました。
- ❖ **マレーシア**では、3 つの小学校で学校参加型の活動を実施し、2,464 名の生徒に無料の眼科検診を行い、低所得者層の学校の子ども達に 79 本の眼鏡を提供しました。このイベントは、近視とその予防の重要性についての認識を高めることに貢献しました。

- ❖ **韓国**では、リップケア製品やニキビ治療製品と子どもの目の健康に関する冊子が入った「ハッピーボックス」を作成し、支援が必要な子どもたちに提供しました。現地社員もこのボックスの梱包にボランティアで参加し、子ども達に向けて手書きの手紙を添えるなど、心を込めた活動を行いました。
- ❖ **タイ**では、タイ赤十字社と協力し、アーントーン、ナコーンパトム、クラビー、チェンライ、スリン、チャチューンサオの 6 つの州を訪問し、農村地域の子ども達に対して目の検査を行い、必要に応じて眼鏡を処方しました。190,000 パーツを寄付し、5,000 冊の「子どもの目の健康」に関する冊子を提供しました。また、このキャンペーンを通じて 7,566 本の眼鏡を寄付しました。
- ❖ **香港**では、広く一般の方々に目のケアが重要であることを伝える取り組みを実施しました。社内点字ワークショップを 9 回実施し、**63 校の 6,300 名以上の学生に届ける点字カード**を作成しました。また、著名な非営利団体オルビスとの協力を継続して、アイケアへの関心を高めるためのアクティビティを開催し、啓発を行いました。幼稚園や小学校を訪問し、無料の目の検査ブースを設け、アイケア知識の普及などの社会活動を実施しました。また、「オルビス空飛ぶ病院」の訪問や「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」(世界中で行われている、暗闇空間で日常生活の様々なシーンを体験するプログラム)の参加を通じて、社員や家族が視覚障がい者が直面する困難を体験し、理解を深めることで、社会の包摂(インクルージョン)への理解を促進しました。
- ❖ **シンガポール**では、ソーシャルメディアでの動画発信などのオンラインでのイニシアティブを通じて、近視に対する理解を広め、子どもの目の健康と予防ケアの実践についての認識を高めました。
- ❖ **ベトナム**では、**5 つの主要都市にある 30 校の子供たち 31,000 名以上に対して目の検査**を行いました。さらに、啓発冊子を配布し、目を守るための知識を高める活動を実施しました。
- ❖ **台湾**では、子ども達にアイケアについて伝えるイベントをオンライン、オフラインともに開催し、**合計 10,000 名以上の子ども達が参加**しました。

ロート製薬株式会社(日本)



子どもの目の健康に関する啓発アニメーション動画、こどもの目の健康に関するガイドブック

活動の名称	1. 東北大学 COI-NEXT 「Vision to Connect」拠点監修の子どもの目の健康に関する啓発アニメーション動画開発及び、宮城県富谷市小学校の学活授業での活用 2. 子どもの目の健康及び近視に関する啓発ガイドブックの配布
日時	2022 年 4 月～2023 年 3 月(2023 年度)
目的	子どもの目の健康や近視に関するリテラシーを向上する(対象:子ども及び保護者)
主な参加者 参加人数	1. 東北大学 COI-NEXT 「Vision to Connect」拠点、 城県富谷市の小学校(8 校、1400 名以上の小学生) 2. 小中学生、保護者、公立小中学校などの教育機関
社会的影響 ハイライト	1. 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム(通称・COI-NEXT)」における共創分野・本格型プロジェクトとして採択された、東北大学を中心とした「『みえる』からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワメント社会共創拠点(東北大学 COI-NEXT 「Vision to Connect」拠点)」に参画し、この「Vision to Connect」拠点監修のもと、子どもの目の健康に関する啓発アニメーション動画を開発しました。制作した動画は、宮城県富谷市の小学校 8 校、1,400 名以上の子どもたちに対する、子どもの目の健康に関する授業で活用いただきました。この活動は、10 年間継続して取り組む予定となっており、長期的に子どもの目の健康に関するリテラシー向上に貢献して参ります。 2. 「子どもの目の健康及び子どもの視力低下」に関するガイドブック、計 370,321 冊を公立小中学校などの教育機関へ配布しました。小学校の先生など教育関係者が、子どもの目の健康に関して生徒に指導する際、本冊子を活用いただき、生徒やその保護者へ本冊子を配布いただきました。教育機関と連携することで、子どもとその保護者の目の健康や近視に関するリテラシーを向上し、そして定期的な眼科検査を促進することに貢献しました。

メンソレータム社・中国

香港理工大学とロート製薬の「Excellence for Eye Care 研究センター」設立



Joy of Seeing(見える喜び)村の子ども達を訪問



アイケアセミナー、視力検査、アイケアキットの配布



活動の名称	Sending Love & Care 2023 – Joy of Seeing 香港理工大学とロートの Excellence for Eye Care 研究センター Joy of Seeing 村の子ども達を訪問 学生のアイケアセンターウェブサイト
日時・場所	2023 年 10 月 – 香港理工大学 2023 年 8 月 – 江西省の村(Yaomen, SheBei) 通年 -オンライン
目的	子どもたちや一般の人々に対して、近視と目の疲労の予防に関するサービスと知識を提供し、アイケアの重要性を伝えること

主要参加者 参加人数	・大学学長、教授、メディア関係者、学生、メンソレータム社スタッフ等 300 名 ・イベントボランティアとして 100 名以上のスタッフ、村の訪問に 20 名のスタッフが参加 ・中山大学中山眼科センターの専門家と学生	・オンラインで広く一般の人々に情報提供 ・江西省の村 2 箇所(乐安县 Le' An)、600 名の子どもたちの家族が恩恵を受け、100 名以上の子どもがイベントに参加 ・小学校(計 32,000 名の生徒)
社会的影響 ハイライト	1. 香港理工大学と共同で「Excellence for Eye Care 研究センター」を設立し、一般の方々のアイケアへの認識を高めることを目指し、目の疲れの診断システムとソリューションの開発に取り組んでいます。研究センターの開所式は、10 月 11 日、世界視力デーの前日に開催されました。このイベントでは、アイケアに関する認識の向上を目指し、目の健康の提唱と、目の疲れの標準化された診断と治療に関するイニシアティブが発表されました。この活動は多くのメディアに取り上げられ、Weibo(中国の主要 SNS)でのホットピックのトップに達し、広く人々に認知されました。 2. メンソレータムチーム(メンソレータム中国工場のスタッフ、薬剤師、広州オフィスの代表者を含む)は、江西省の児童養護施設を訪問し、視力相談、アイケアレッスン、アイケアキットの配布、お絵描き活動などの目の健康に関する啓発活動を行いました。 3. アイケアセンターのウェブサイトでは、小学生を対象にオンライン視力テストを実施し、生徒向けのサービスを提供しました。	

ロート・メンソレータム社・タイ

   眼科検査ステーションの支援	      新しい眼鏡を受け取る子ども達
--	---

活動の名称	農村地域の子ども達への眼鏡の提供	
日時・場所	2023 年 8 月 23 日	ワット・ソートン・ワラーム・ワラウィハーン、 チャチューンサオ
目的	農村地域の子どもたちの目の健康に関する知識を広め、目の健康を向上させる	
主要参加者	1,682 名の子ども達	
参加人数	8 名のロート・メンソレータム社・タイのスタッフ	
社会的影響/ ハイライト	タイ赤十字社のプロジェクトを支援し、6 つの県での目の検査と年間 7,566 本の眼鏡を無償で配布するために 190,000 バーツを寄付しました。ロート・メンソレータム社・タイの代表者は、チャチューンサオ県でタイ赤十字社の眼鏡を処方する移動式ユニットに参加し、1,682 名の子ども達に目の検査を提供しました。さらに、目薬など自社商品と目の健康に関する啓発冊子を配布しました。	

ロート・メンソレータム社・マレーシア



小学校向けの支援プログラム-「アイケアと近視」啓発



アイケア教育ゲーム、参加型アクティビティ

学校の子ども達に向けた無料眼科検査



専門家によるアイケアの啓発セミナー / 眼鏡提供のスポンサーシップ / モバイルトラックを活用したブース

活動の名称	Sending Love & Care 2023 – Joy of Seeing	
日時・場所	2023 年 7 月-8 月	マレーシア公立初等公立学校 SK Seri Cheras / SK Kiaramas / SK Kampung Batu
目的	・7 歳から 12 歳の子ども達を対象に目の健康意識を高めること ・子どもの近視予防、目の健康に関するケアについて啓発すること ・子どもの近視の早期検出を支援し、眼鏡を提供すること	
主要参加者 /参加人数	眼科専門家(眼鏡店連携)、ロートマレーシアの経営幹部、 ヘルスケアチェーン営業責任者、政府関係者	2,464 名の学生

社会的影響 ハイライト	お取引先企業様のご協力を得て、キャンペーンを通じて目の健康の重要性を広く伝え、子ども達が正しい目のケア方法を学ぶことができました。眼科専門家より、近視予防と幼少期からの適切なアイケア習慣の重要性について啓発いただきました。 子ども達が目の健康の重要性を学ぶため、子ども達が楽しみながら参加できる目のゲームを実施しました。眼科専門家による近視啓発のセミナーには、3 つの学校から 2,464 名の生徒が参加し、アイケアのヒントや目のエクササイズを学び、子ども達の目の健康向上に寄与しました。
------------------------	--

ロート・メンソレータム・ベトナム社



医師による



アイケアゲームと相談コーナー



学生向け無料眼科検査

目のケアについてのトーク

活動の名称	Joy of Seeing – 学校での目の検査「見える幸せ」	
日付・場所	2023 年 3 月-10 月	ホーチミン、ハノイ、カンター、ダナン、ハイフォン
目的	・都市部の若い世代を中心に、ベトナム人のアイケアに関する知識の向上 ・ロートグループの Joy of Seeing プロジェクトを、子どものアイケアの専門家に発表し、将来のステップに向けて連携を図ること ・特に子ども達の近視率が上昇している状況の中、早期のアイケアの重要性について、認識を高めること	
主要参加者 参加人数	H' Hen Niê 氏(ブランドアンバサダー、2018 年度ミス・ユニバーストップ 5)	5 か所の主要都市の 30 校、31,653 名の学生
社会的影響 ハイライト	多様なチャネルを活用してターゲット層にリーチし、目を引くデザインやコンテンツを用いて、エンゲージメントを高めました。	

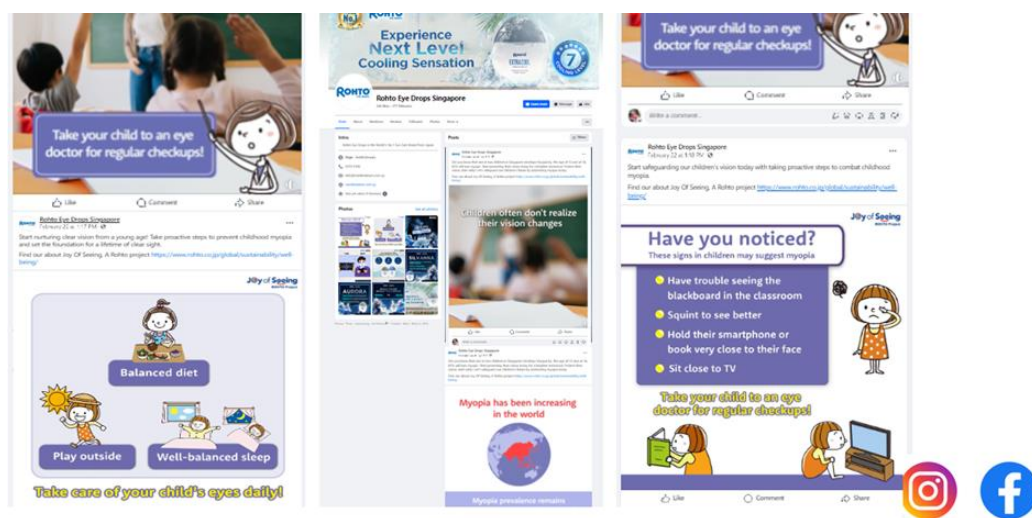
メンソレータム社・アジアパシフィック・韓国支店



支援が必要な子ども達へのプレゼント

活動の名称	Sending Love and Care 2023 – Joy of Seeing	
日付・場所	2023 年 12 月	ソウルにある、メンソレータム社・アジアパシフィック・韓国支店のオフィス
目的	支援を必要とする子どもたちに向けた活動	
主要参加者 参加人数	従業員ボランティア 30 名	
社会的影響 ハイライト	子ども達の健康と生活を支援するため、「Happy Box」(リップ、洗顔料など生活に必要な製品、子どもの目の健康に関する啓発冊子を入れたプレゼントボックス)を従業員ボランティア 30 名で制作し、手書きの手紙も添えて、支援を必要とする子ども達へプレゼントしました。 今回の活動について、ハッピーアライアンスという Web サイトやソーシャルメディアで取り上げられました。また、BTS のファンクラブ「ARMY」がきっかけとなり、BTS 関連のニュースやメディアにおいて、拡散されました。	

ロート・メンソレータム社・シンガポールオフィス



子どもの目の健康に関する啓発コンテンツをソーシャルメディアで発信

活動の名称	Joy of Seeing – SNS を活用した啓発活動	
日時・場所	2023 年度	ソーシャルメディア(インスタグラム、フェイスブック)
目的	子どもの目の健康・近視に関する啓発コンテンツを作成し、ソーシャルメディアで発信することで、子どもの目の健康や近視に関して、広く啓発する	
参加人数	-	
ハイライト	子どもの目の健康に関する啓発動画・投稿記事をソーシャルメディアで発信し、近視とは何か、子どもの目を守るためのアイケアをどのように始めるべきかについて、認識を高めるため、啓発活動を行いました。	

メンソレータム社・台湾

1. 子ども達のアイケアに関する認識を向上



2. アイケアへの意識を高める共同キャンペーン



3. スポンサーとして目のサプリメントを寄付



活動の名称	Sending Love & Care 2023 – Joy of Seeing	
日時 & 場所	2023 年 4 月、7-8 月、10 月	オンライン 松山文創園區(SongShan Cultural Park)
目的	・子ども達にアイケアについて伝えること ・従業員のボランティア活動を奨励し社会に貢献する	
主要参加者 参加人数	約 10,000-15,000 名の子ども達 28 名の従業員	
ハイライト	1. 近視予防に焦点を当て、親子で目の健康について学ぶキャンペーンを実施しました。近視の兆候を発見し、日常的にアイケアを行うためのヒントを、保護者に向けてオンラインで発信しました。また、目に良いとされる食べ物などを教える双方向的なゲーム等、目に関する知識やアイケアの意識を高めるイベントを開催しました。イベントには、1万人以上の子ども達が参加し、約 5,000 冊の啓発冊子とレインボーペンを配布し、目の健康と未来をつくる、象徴的なイベントとなりました。さらに、キャンペーンでは、イベントと同時に、台湾失明予防基金を支援する慈善活動も行い、活動の一環としてロートの目のサプリメントを 300 個寄付しました。	

ロート・アドバンス・リサーチ香港社



社内及び地域での点字ワークショップ／ショッピングモールでのイベント／学校訪問とアイケアトーク&ゲーム

活動の名称	Sending Love & Care 活動(オルビス社とのパートナーシップ)	
日時&場所	2023 年 3 月 -2024 年 2 月	オフィス/倉庫/保育園/灣仔ハーバーフロント/MOS タウン/香港国際空港
目的	・点字カード製作と配布:オルビス社と提携し、幼稚園や小学校を訪問して点字カードを配布 ・目の健康に関する認識の向上:社会貢献イベントや、ショッピングモールでのイベントを通じて、目の健康に関する人々の認識を高める	
主要参加者 参加人数	・オルビス社経営幹部 ・従業員 100 名以上	・子どもたち、6,300 名以上
ハイライト	1. 点字ワークショップ:9 回開催し、オフィスおよび倉庫スタッフ全員が参加。点字を通して視覚障がい者のコミュニケーション方法を学び、10,000 枚の点字カードを完成させ、63 校の学校訪問で 6,300 名の子ども達に配布しました。 2. 学校訪問:2 回実施し、30 名以上の従業員が参加。子ども達と視覚障がいのある方の疑似体験(小学校での目隠し給食、幼稚園での見えないティータイム)を行いました。 3. ショッピングモールでイベントを開催:ワンチャイ地域でオルビス・ソーシャル・ブースに参加し、6,300 冊の目の健康に関する啓発冊子を配布し、2 日間で 1,000 名以上の子ども達とその家族にアプローチしました。	

JOY OF SEEING プロジェクトの今後の活動、企業理念

2022 年にプロジェクトを開始し、第1弾の注力テーマとして「子どもの目の健康、近視」を掲げたグローバルな活動は2年目となりました。各地での啓発活動も広がっています。「子どもの目の健康、近視」は社会から求められる中期的な重点テーマとし、2024 年も活動を継続していきます。引き続き、各地域のグループ会社、パートナー・団体等と連携して活動を広げ、様々な地域の人々の目の健康に貢献するための啓発活動へ積極的に取り組んで参ります。

【理念・価値観・行動規範】

ロート製薬の存在意義(パーパス)は、世界の人々に商品やサービスを通じて健康をお届けすることによって、取り巻くすべての個人や社会の「Well-being」に貢献していくことです。

当社では、心身ともに健康であるだけでなく、社会に貢献することで世の中をも健康にしていきたいと考えています。

「7つの宣誓」は常識を超えるようなユニークで新しい商品やサービスを生み出し、世界中に健康を届けていくために、私たちが日々の仕事に取り組むうえで大切にしている考え方です。

今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

7つの宣誓

1. 私たちは、社会を支え、明日の世界を創るために仕事をしています。
2. その為に、いつも謙虚に学び、自らを磨く努力をし続ける決意を持っています。
3. 励ましあい、協力し合える、社内外の仲間との信頼の絆をなにより大切にしています。
4. 高い理想を掲げ、熱く語り、エネルギッシュに行動する文化を私たちは誇りに思います。
5. 明るく、楽しく、和協努力。驚喜（オドロキ）の輪を世界中に拡げていきます。
6. まず人がいて、輝いてこそ企業が生きる。主役は人、一人ひとりが自らの意志と力で自立し、組織を動かして行きます。
7. 私たちの存在を支えてくれる、すべてのもの（自然、社会、人々）への感謝と奉仕を固く誓います。